

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

仏向地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

横浜市仏向地域ケアプラザは仏向町、仏向西、坂本町を担当エリアとしています。坂が多い地域で住民の多くが車やミニバスの公共交通機関を利用しています。地域的に人口増加が進んでおり、30～40歳代の若いファミリー層の増加が見られます。それと同時に高齢化率も上昇しており、若い世代と高齢世代の世代間交流をいかに行っていくかが地域課題の一つとしてあげられています。

28年度は仏向の自然を生かした取組みである仏向農園の開設に始まり、障がい児（者）を対象としたB' ホップダンスの立ち上げなど、第三期計画を基盤とした事業に取組み、幅広い年齢層の方々が来館できるような環境づくりに努めました。

地域ケアシステム構築に向けた取組みとしては、各関係機関との連携を図り、個別地域ケア会議および包括レベル地域ケア会議を実施しました。

認知症に関する取組みとして、保土ヶ谷みまもりSOSネットワークの協力機関増や協力医による地域住民向け認知症講座の開催。また、キャラバンメイトサポーター養成講座の開催なども行いました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

公共の施設である為、専門の業者に施設全体の維持管理を依頼することで、質の高い施設管理を行っています。空調、消防設備はもちろんのこと、使用頻度の高い自動ドアやエレベーターの安全管理には特に注意し、常に快適に利用出来るよう配慮しています。

開設から10年が経過し、ボイラーの故障や雨漏りなど、不具合が多くなっていますが、来館者にご迷惑がかからないよう、不具合が発見された場合には、速やかに報告し、法人や行政との連携により、早急に修繕するよう心がけています。

イ 効率的な運営への取組について

消耗品等については無駄が生じないよう日々徹底し、取り扱いに注意を払うよう指導を行い、職員への意識付けを行っています。また、資源に関しての節約の意識をもつよう、職員に対しミーティングなどの場において啓発を行っています。来館者へも掲示や口頭、活動団体説明会などで、節電・節水の呼びかけを行っています。

ウ 苦情受付体制について

館内に「理事長への手紙」を設置し、要望や苦情が匿名でも受けられるような体制を整えています。また、当法人の苦情相談窓口の案内等も行っています。

自主事業を実施した後に、その事業へ参加した皆様から、感想や要望をアンケートとしてあげていただき、次の事業に反映できるよう取り組みました。

年一回の施設利用者アンケートを実施し、問題点やその対応策について区役所に報告を行いました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

施設の火災等発生時と地域での大規模災害発生時に分け、職員の役割分担を決めており、施設利用者の身の安全を確保しています。

また、地域ケアプラザは大規模災害時の特定避難場所となっており、広域避難場所連絡会や避難訓練等にも積極的に参加しています。

オ 事故防止への取組について

ヒヤリハットや事故発生の際には、必ず報告書を作成し、部門ミーティング等において、事故原因の追究とその防止策を検討してまいりました。ヒヤリハット報告は今後も業務改善のツールとして活用し、職員間での情報共有を徹底していきます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人としての個人情報保護方針を定めており、これをホームページへ掲載すると同時に、館内にも掲示しています。また、指定管理業務で個人情報の漏えいがあった場合には、速やかに行政への報告を行います。

年1回、全職員に対して個人情報保護に関する研修を実施しています。

居宅介護支援事業や介護予防支援事業に関しては、契約書の中にも謳われており、その厳守に努めています。

キ 情報公開への取組について

情報公開については、当法人のホームページにて運営規定や財務状況を公開しています。実施事業ごとに館内に運営規程の掲示も行っています。

また月1回、地域の情報や自主事業の情報、健康情報などを掲載した広報紙を発行し、各自治会や学校、施設、関係機関等へ配布します。

介護保険事業に関しては、ケアマネジャーの空き情報の公開や神奈川県指定情報公表センターのホームページにて介護サービス情報の公表を行っています。

ク 人権啓発への取組について

年1回、全職員に対して権利擁護や身体拘束に関する研修を実施しています。

地域住民に対しては、消費者被害や成年後見制度に関する講座を開催し、権利擁護の啓発に努めました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市資源循環局のルート改修（ヨコハマ3R夢プラン）に対応するよう、ゴミの分別を徹底しています。「資源としてリサイクルできる物と、ゴミとして排出する物と区別をする」、「ゴミを持ち込まない」、「ゴミを増やさない」、これらのことへの意識を高め、ゴミの減量化に取り組んでいます。

また、館内の温度管理等を適切に保ち、使用しない部屋の電気や空調の電源をこまめに切る等の節電により、環境への配慮に努めています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター4名（保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーター）体制。

《目標》

- ・介護予防従事者研修など必要な研修へ積極的に参加することで、職員の資質向上に努めました。
- ・ケアマネジャーからの相談にはいつでも応じ、ケアマネジャーが一人で問題を抱え込まないように、必要に応じてケアカンファレンスや地域ケア会議を開催するなど、支援体制を整えられるよう取り組んでいます。

【困難事例について】

- ・ケアマネジャーや介護保険サービス事業所に加え、区役所や区・地区社会福祉協議会、民生委員、一般事業所等と連携を図り、解決に向けて取り組んでいます。
- ・上記の連携円滑化のため、地域ケア会議やケースカンファレンス等を必要に応じて開催し、地域包括ケアシステムの基盤構築に向けた支援体制の構築に取り組んでいます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域住民との関わりを深める目的で、自治会等への積極的な働きかけを行っています。

「認知症サポーター養成講座」を中心に地域住民向けの認知症に関する勉強会の開催を実施しています。

- ・介護保険制度を知らない人や実際には必要なものの制度に繋がっていない人を一人でも多く掬い上げるため、各自治会や民生委員・児童委員への講座案内など積極的な働きかけを行っています。
- ・保土ヶ谷みまもりSOSネットワークシステムの説明を通して、地域の施設等との繋がりを強化すると共に、認知症サポーター養成講座の開催を四半期に一回の目標とし、地域全体の福祉力・支援力の向上に取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
151	161	160	158	161	162
10月	11月	12月	1月	2月	3月
162	161	164	159	161	162

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1 名と常勤 2 名、常勤兼務 1 名の 3.5 名体制

《目標》

ケアマネジャー連絡会を中心とした研修会参加や、同法人内での定期ミーティング開催により、質の高いケアマネジメントを提供していけるよう取り組みました。また、昨年度同様、包括支援センターや地域活動・交流との共催により、地域住民向けの料理教室の場を活用した介護保険制度説明など、地域貢献活動も実施しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

社会福祉法人清光会の 6 施設（4 地域ケアプラザと 2 特別養護老人ホーム）と医療法人恵生会との連携により、福祉医療に充実した体制を整え、制度の高い情報提供とケアマネジメントが行えるよう努めています。また、土日の相談にも対応することができるよう、ケアマネジャーだけではなく、所内包括支援センターとの連携にも努めています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
51	54	58	63	63	66
10月	11月	12月	1月	2月	3月
70	71	70	71	74	73

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康チェック
- 入浴
- 食事
- レクリエーション
- 口腔機能向上
- 個別機能訓練
- 相談業務

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（通所介護）
 - （要介護1） 704円/回
 - （要介護2） 831円/回
 - （要介護3） 963円/回
 - （要介護4） 1,095円/回
 - （要介護5） 1,227円/回

- 食費負担（サービス共通） 750円/回

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 生活相談員 5名（常勤兼務）
- ・ 看護師 5名（非常勤兼務）
- ・ 介護員 18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

《目標》

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施しました。利用者様一人一人に合わせた自立支援に努め、昼食メニューの充実やレクリエーションプログラムの見直しを行うことで、月間稼働率の向上を目指しました。（年間稼働率77%）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

通常規模の通所介護/介護予防通所介護/第一号通所事業に加え、認知症対応型通所介護も併設しています。

園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。明るく開放的なデイルームで、利用者様一人一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
560	594	613	628	663	702
10月	11月	12月	1月	2月	3月
707	644	678	629	635	716

● 介護予防通所介護事業／第一号通所事業

《提供するサービス内容》

送迎

- 健康チェック
- 入浴
- 食事
- レクリエーション
- 口腔機能向上
- 運動器機能向上訓練
- 生活機能向上グループ活動
- 相談業務

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（介護予防通所介護）

（要支援1） 1,766円/月

（要支援2） 3,621円/月

（第一号通所事業）

通所型独自1/2 1,766円/月

通所型独自2 3,621円/月

- 食費負担（サービス共通） 750円/回

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30～16:35

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 生活相談員 5名（常勤兼務）
- ・ 看護師 5名（非常勤兼務）
- ・ 介護員 18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

《目標》

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施しました。利用者様一人一人に合わせた自立支援に努め、昼食メニューの充実やレクリエーションプログラムの見直しを行うことで、月間稼働率の向上を目指しました。（年間稼働率77%）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

通常規模の通所介護/介護予防通所介護/第一号通所事業に加え、認知症対応型通所介護も併設しています。

園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。明るく開放的なデイルームで、利用者様一人一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 4 2	1 2 1	1 2 5	1 4 5	1 5 2	1 3 6
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 0 7	1 0 6	1 1 4	1 0 4	1 0 9	1 3 3

● (介護予防) 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康チェック
- 入浴
- 食事
- レクリエーション
- 口腔機能向上
- 個別機能訓練
- 運動器機能向上訓練
- 相談業務

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（認知症通所介護）

（要支援1）	927円/回
（要支援2）	1,036円/回
（要介護1）	1,072円/回
（要介護2）	1,188円/回
（要介護3）	1,305円/回
（要介護4）	1,422円/回
（要介護5）	1,539円/回

- 食費負担（サービス共通） 750円/回

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 生活相談員 5名（常勤兼務）
- ・ 看護師 5名（非常勤兼務）
- ・ 介護員 18名（常勤兼務5名、非常勤兼務13名）

《目標》

居宅介護支援事業所からの介護計画書に基づき、個別の（介護予防）認知症対応型通所介護計画を作成し、この計画に沿ったサービス提供を実施しました。利用者様一人ひとりに合わせた細やかな対応を行うことで、住み慣れた環境での生活が継続できるよう支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

認知症対応型通所介護に加え、通常規模の通所介護/介護予防通所介護/第一号通所事業を併設しています。

園芸や手芸等のクラブ活動をはじめ、レクリエーションの充実に努めています。

明るく開放的なデイルームで、利用者様一人一人の希望やニーズに合わせたサービス提供を心掛けています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
29	34	48	49	54	49
10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	27	27	21	38	47

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ①前年度に引き続き、各町会老人会等の集まりに参加すると共に地域の行事の場を借りて介護保険説明やケアプラザの機能紹介を行っています。また、地区民生委員・児童委員と協働し、ケアプラザの連絡先と相談窓口機能を書いた「ほっとライン」（掲示物）を作成。民生委員・児童委員が主体となり、訪問時や地域のサロン内で配布して下さっています。今後もケアプラザが福祉の相談窓口であることの周知を、地域活動者と連携し継続的に行っていきます。
- ②出張相談に関しては、今年度も実施できておらず、次年度の課題ですが、その阻害要因としては、包括職員のスケジュールの他、開催場所についての自治会・老人会等との協議不足が挙げられます。来年度は、上記開催場所についての協議と、それに並行して各自治会・老人会等の出張相談会に関するニーズ調査も行っていきます。また、具体的な開始日時は未定なものの、有料老人ホームから、平成 29 年 2 月以降に毎月定期的な介護保険に関する出張相談窓口を設けて欲しいとの要望があり、年度内の開催に向けて打ち合わせと日程調整を進めています。
- ③ 相談ケースについては、総合相談票の回覧、合同ミーティングなどを活用し、4 職種（包括、生活支援 C0）が共有できる体制をとっています。区生活支援課や区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、生活支援 C0 など、介護保険外の公私サービスを展開する機関・職種とも連携し、多角的な対応を行っています。
- ④ 生活支援 C0 を中心に総合相談表の分析を行いました。仏向地区全体の傾向や各自治会単位での傾向などがつかめつつあります。経過が短い点や相談総数が少ないなどの課題はありますが、今後も分析を継続し所内での共有を始め、地域の方々、区役所、区社会福祉協議会など、関係機関と地域の課題・特徴の共有をする際に役立てていきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・基本的に、毎月行われる区との包括カンファレンス終了後、包括、生活支援 C0、地域活動 C0 との合同ミーティングを開催。情報共有の場として活用しています。
- ・系列 4 ケアプラザにおいて各部署の合同連絡会を開催。区の枠を超えた情報共有、連携体制づくりに努めています。

3 職員体制・育成

- ①毎月行われる区との包括カンファレンス終了後、包括、生活支援 C0、地域活動 C0 との合同ミーティングを開催。職員間の情報共有、コミュニケーションの場として活用しています。
- ②今年度は P D C A 研修に 1 名参加。年度ごと順番に参加予定です。
接遇研修に関して、28 年度実施は出来ませんでした。29 年度系列 4 ケアプラザにて開催予定です。
- ③ 4 ケアプラザ合同研修については 4 月 28 日に実施。
- ④各部署おおむね 3 ヶ月に 1 回、各地域ケアプラザ持ち回りで実施しています。持ち回りのケアプラザの所長がオブザーバーとして必ず参加しています。
- ⑤ 外部研修に関しては、必須研修のみならず、回覧等で情報提供を行い、参加希望があれば柔軟に参加できる体制をとっています。

4 地域福祉のネットワーク構築

① 5職種＋所長が持ち回りで仏向地区連合自治会へ参加。「ほっとなまちづくり」の進捗状況や地域ケアプラザが実施する事業への協力依頼、地域との情報共有を行っています。

② 地区民生員児童委員協議会へは4月から参加させていただくようになりました。地域ケアプラザからの情報提供から始まり、徐々に個別ケースの相談なども行える環境に発展しつつあります。

地区社会福祉協議会への定期参加は現在のところ行えておりませんが、29年度からの定期参加に向け、地区社会福祉協議会の役員と調整を行っています。

③ 障がい者施設との連携として、パン、豆腐販売を継続実施するほか、ケアプラザで開催される事業への参加、協力、SOS ネットワーク協力機関への登録なども依頼し、顔の見える関係づくりに努めています。

④ 近隣中学校の職業体験受入れと「保護者・地域の方の授業」への講師派遣を実施しました。（区社会福祉協議会と合同）

今まで依頼のなかった中学校からも職業体験の受入れ要請があるなど、近隣の小中学校へ改めてご挨拶に伺うことで、新しいネットワーク形成にも取り組んでいます。

⑤ 子育て連絡会では事務局のメンバーとして、打ち合わせから子育て連絡会の開催、公園遊び講座、3回の公園遊びを地域の子育て支援者と連携をとりながら実施しました。広報活動にも力を入れ、当日は多くの親子参加がありました。29年度はさらに連携を強化することを事務局会議で確認しています。

また、28年度は障がい児・者と親対象の余暇支援自主事業を実施。参加者と自主事業を通じて関係が深まり、障がい児・者が参加できる事業の紹介から、すでにいくつかの事業に参加し地域の方と交流を深めています。障がい児・者とその親が自然に地域の方々に溶け込んでいる様子が見られます。区社会福祉協議会の担当者と情報交換しながら、今後は近隣、施設とも連携を広げていく予定です。

5 区行政との協働

ほっとなまちづくりのみならず、横浜市高齢者虐待防止事業指針の周知やサポーター養成講座の実施、多職種連携など、区行政との協働により実施しています。

29年3月11日にはほっとなまちづくりにおいて「仏向フェスタ」を開催しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 仏向地域ケアプラザから遠い和田町駅付近で行っている仏向地区社協主催のおしゃべりサロンや老人クラブ、赤ちゃん教室などに出向き、ケアプラザで活動しているサークル活動や自主事業を紹介した。地域に出向くことにより地域の活動内容が把握でき今後の活動に役立てています。子育てサロンや子育てサークルと話しやすい関係を日頃よりつくり（共催事業や自主事業の実施）、顔の見える関係性に心がけたところ子育てに関する要望などを話し合えるようになっていきました。仏向ケアプラザが持っている情報例えば、今まで事業でお呼びした子育てボランティアさんの内容などを伝え、活動に役立てていただきました。
- ② 毎月、ブログに広報紙を掲載しています。またクリスマスコンサートの様子も掲載。当日、来館出来なかった方も様子を見ることができブログを見ている方も増えています。スマホで情報収集をする若い世代の館内利用の増加につながっています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

仏向地域ケアプラザを利用して活動している団体が地域の方々に発表できるよう、10月29日（土）に、「じゃがいもフェスタ」というお祭りを開催。ダンスや音楽、料理やパンや洋菓子作りの団体が発表し互いに交流しました。また地域の作業所、浜風も出店され地域の方々と交流ができました。

12月3日（土）18時30分～20時に実施したクリスマスコンサートは日頃からケアプラザを利用している方々を中心に音楽とダンスの発表を地域の方々と共に企画から話し合いをして実施しました。包括職員の協力もあり、ケアプラザから遠い地域の高齢者の方々も来館できるよう、車による送迎を行いました。夜間にもかかわらず、85名の来館者があり、盛大に開催されました。若い世代の家族での参加や男性の来館者も多く、年齢、性別を見るとバランス良く来館されていた。来年も開催して欲しいとの要望が多く29年度も企画予定。

ほっとなまちづくりフォーラム福祉作品展では、ケアプラザでは唯一、部屋利用団体の作品を出展し、ご覧になった区民の皆さんにも喜んでいただきました。また展示することで折り紙サークル活動を知り、近隣の福祉施設へのボランティア活動依頼がありボランティア活動の場が広がっています。

また仏向地域ケアプラザで活動している団体が自分たちの特技を活かして地域の自治会などで活動できるようコーディネートしました。

3 自主企画事業

①6月より毎月第4土曜日、10時半～11時半、Bホップダンスという障がい児・者と親の余暇支援事業を7回実施。地域の作業所、浜風にもチラシを持参し参加者を呼びかけました。参加者同士仲良く、障がい児・者も親も楽しく余暇活動しています。男の料理教室のメンバーとBホップダンスの参加者との交流を2月25日に計画している。Bホップダンスに参加しているお母さん達が他のケアプラザの事業にも参加しています。ケアプラザという地域の方々が大勢利用している場所で障がい児・者の自主事業をすることで、障がい児・者と地域との距離が近くなっているように思います。今後も障がい児・者とその親の良き居場所として、地域の方々との交流を深めていく予定です。

②年末年始と月1回の休館日以外は毎日開館しているケアプラザの強みを活用して、何か特別な催し物が無くても気軽に来館できる仕組みづくりを行いました。「大きなお絵かき」と「本の貸し出し事業」のコーナーを設け、平日はもちろんのこと土曜、日曜祭日の親子の居場所にもなっています。

③7月11日に実施した館内利用団体交流会において、防災訓練を実施しました。避難訓練、消火訓練、AED・心肺蘇生訓練を保土ヶ谷消防署職員の指導で行いました。当日は熊本震災の影響もあり26団体、36名の参加者が熱心に取り組みました。地域での防災意識はとても高く、これからも防災訓練を通じた地域交流の機会は継続していく予定です。防災時の炊き出しの練習は男の料理教室メンバーとBホップダンスの参加者と一緒に実施いたしました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

自主事業の開催時に見守りや特技を活かして、ボランティア参加していただきました。その結果、ボランティアで参加した方々に責任感が芽生え、張り切って生き生きと役割を果たしていました。ボランティアで参加した方々からは、またボランティアとして活動したいとの声をいただきました。今後は地域でボランティアをしてくださる方のすそ野を広げていく予定です。

また今まで保土ヶ谷中学との交流は無かったが、今夏、初めて伺ったところ、次年度、生徒を職業体験の場として受け入れて欲しいとの要望があり、仏向ケアプラザ、デイサービスで受け入れることとなりました。今後、交流を深めていく予定です。ボランティアを必要としている団体や内容を一覧表作成は今期の実績をふまえ、作成します。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ①保健師が中心となって定期的に訪問してきた各自治会・老人会にて介護保険に関する出張講座を行うと共に、これまで関係性が希薄だった有料老人ホームでの介護保険講座を予定通り 9/12 に開催しました。同施設からは、28 年度中に住民向けの認知症勉強会や定期的な出張相談窓口の開催の要望があり、2/4 から月 1 回で開始しています。
- ②「生涯学習」講座として二種類の講座を開設し、これまでケアプラザの事業には参加していなかった方の参加に結び付けることが出来ました。また、この参加者の中から地域のボランティア活動に参加し始めた方もおり、早期からの繋がり作りと併せて、担い手づくりについても、効果を上げ始めております。
- ③個別相談ケースについては、総合相談票の回覧、合同ミーティングなどを活用し、4 職種（包括、生活支援 CO）が共有できる体制をとっています。ケースによっては、区高齢障害支援課だけではなく、生活支援課や区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、生活支援 CO など、介護保険外の公私サービスを展開する機関・職種とも連携し、多角的な対応を行っています。

地域包括支援ネットワークの構築

- ①年初時点で徘徊 SOS ネットワーク発見協力機関として登録を頂いていた事業所については、28 年中に新システムについての説明を終えました。28 年度中に新規登録者を 5 件増やしました。
- ②現在活動中のキャラバンメイトが全員フルタイムで就業中のため、認知症サポーター養成講座の共同開催は実現出来ていません。一方で、7 月以降の奇数月第一土曜日にエリアキャラバンメイト連絡会を定期開催し、偶数月の認知症予防カフェの開催内容等についての打ち合わせを行っています。
- ③9/12 に地域の民生委員とケアマネジャーを初めとした介護保険事業所との連絡会を開催し、その場で地域活動紹介誌「ぽてと」の紹介を行いました。その際に、各事業所と各地域での活動それぞれを動画で紹介し、それを元に、地域ごとの状況についてグループワークを行い、介護保険事業所と地域との結びつきの強化に取り組みました。
- ④6/22 に有料老人ホーム職員向けの講座を実施しました。これによって、早い段階での包括への相談が入るようになると共に、認知症サポーター養成講座の職員向け開催の依頼を頂く等、連絡連携体制の構築が進んでいます。

実態把握

- ①各町会や民生委員、生活支援 CO と共同で、独居高齢者世帯だけではなく、高齢者のみ世帯を把握する MAP の作成を準備しています。この作成に当たっては、連合町内会にて各町会長に広報し、協力を依頼しています。
- ②昨年度に引き続き、連合町内会へは所長、各コーディネーターを含め、毎月持ち回りで参加しています。その際には当ケアプラザが行う事業紹介や地域の話題についての情報交換、ほっとなまちづくりの進捗状況報告などを行っています。
- ③毎月行われる区、区社協と包括との定例ミーティングの開催前に 5 職種（包括、地域、生活）+所長によるミーティングを定期的で開催しています。この場において、職種にまたがって実施する事業等の情報交換を行い、必要に応じて協働して事業を行っています。
- ④昨年度に引き続きアンケートの実施による情報収集を定期的に行いました。複数職

種にまたがって開催された事業のアンケートについては、結果を共有し、次回以降の開催の参考にしています。

2 権利擁護

権利擁護

【消費者被害】

1/19に消費生活総合センターによる「悪徳商法防止」をテーマとした講座を開催しました。この資料を活用した地域への出張講座に関しては、29年度に開催する予定です。

【成年後見制度】

7月から個別相談会については、12月時点で相談予約はない状況です。一方で、面へのアプローチとして、司法書士による「お金」をテーマとした講座3/5に実施、この中で、任意後見についての説明を併せて実施しました。

点へのアプローチとしては、6月中旬に後見制度の利用を開始したケースで、ケアマネジャーや地域と連携して支援を続け、最終的に施設入所に結び付けました。

高齢者虐待

①区高齢障害支援課及び他包括社会福祉士との共同で、7月に改定された横浜市高齢者虐待防止事業指針の周知に取り組みました。具体的には、10/12に通所介護事業者連絡会、10/19には訪問介護事業者連絡会と包括主任ケアマネジャーによる合同ケアマネジャー連絡会での説明会を実施しました。

②地区社協や民生委員等の地域に対する虐待についての普及啓発事業は取り組みが進んでいないのが現状です。①で作成した虐待アセスメントシートを上記団体に提供し、地域での活動における虐待発見の一助として頂く予定です。

認知症

【SOSネットワーク】

年初時点で徘徊SOSネットワーク発見協力機関として登録を頂いていた事業所については、昨年12月までに新システムについての説明を終えました。

新規の発見協力機関については、コンビニエンスストア1件、グループホーム3件、障がい者授産施設1件の登録を頂いています。

【認知症】

①講師の都合を除き、年内4～12月の隔月計5回の認知症（予防）カフェの開催を実施しました。また、キャラバンメイト連絡会についても、7月の初開催以降、年内3回の開催を行いました。年度内にはカフェを1回、連絡会を2回開催しました。

②予定通り、11/30、12/3の2回に分けて有料老人ホームの職員向けにサポーター養成講座を開催しました。また、10/12には女性団体協議会、11/28には保土ヶ谷消防署を対象として、区役所高齢障害支援課や他包括と共同してサポーター養成講座を行いました。障がい者自立支援施設等については、継続してアプローチをかけている状況です。

③区役所高齢障害支援課及び他包括と担当者会を重ね、10/22に育生会病院、11/4に保土ヶ谷中央病院にて認知症に関する講演会を行いました。主に、「早期発見・早期治療」と「認知症になっても住みやすいまち（＝地域包括ケアシステム）の構築」をテーマとしての講演となりました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

①2回のワーキングを経て、7月末と8月上旬の全市説明会へと結び付けました。区内については、区役所高齢障害支援課及び介護保険課と協議を行い、8/12の地域包括支援センター連絡会（全体会）では区内他包括に、8/31には区内主任ケアマネジャー主催による合同ケアマネジャー連絡会において、介護予防ケアマネジメント説明の一環として、区内のケアマネジャーへの説明会を行いました。

②生活支援C0による区・区社協とのミーティングへの参加や包括職員の作成した相談票の共有閲覧、地域ケア会議への出席等を進め、包括が得る情報を同時並行的に生活支援C0が得られる環境構築を行っています。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

9月12日

民生委員・児童委員・地区社協とケアマネジャーとの懇談会開催

・地域で行われている活動を再更新した情報と地域を支えるケアマネ事業所を映像で情報共有を行いました。

介護保険を利用している方が参加出来る地域資源への利用や、地域に繋がりを持たない方が集いに参加するための問題についてそれぞれの視点から意見を出し合い、地域を支えるチームの構築する場になりました。

・生活支援課から新たな生活困窮者自立支援制度の説明を受け、新しい制度を周知する機会になりました。

医療・介護の連携推進支援

4月6日

「エリア内在宅医とケアマネジャーとの懇談会開催」

10月26日

「協力医、エリア在宅医とケアマネジャー、訪問介護懇談会を開催」

・10月の開催は往診医のみならず、精神科医、訪問介護事業所などの参加者を広げ、発表された事例を通じ、連携、支援の手法についての共有やお互いの立場を理解する機会になりました。

11月24日

7包括合同「多職種連携全体会開催」

・高齢者虐待についての講義、事例を通じて視点の違い、それぞれ何が出来るかを話し合い地域包括ケア構築の場になりました。

ケアマネジャー支援

7包括合同ケアマネ連絡会

4月20日

「介護予防・日常生活支援総合事業について」

5月18日

「ケアプラン研修」

6月22日

「認知症研修」

8月31日
「基本チェックリスト全域実施にむけて」
9月21日
「自殺についての知識と対応」
10月19日
「高齢者虐待を考える」
11月24日
「多職種連携会議全体会」
12月21日
「MSWとケアマネジャー懇談会」
2月15日
「精神疾患の理解と支援のポイント」

4月、8月の研修

総合事業、チェックリスト開始にむけ、円滑に移行が出来るよう開催。

5月、6月、2月の研修

ケアプラン研修、認知症、精神疾患の理解など必須な研修を開催。

・病気への理解や支援について、ケアプランの考え方や振り返りなど、再確認の研修になりました。

9月、10月、11月、12月の研修

区、包括社会福祉師、区多職種、区内4病院地域連携室との協力で開催。

・事例を通じて視点の違いを気付き、それぞれの立場を理解し、協力、連携にていての必要性や重要性についての研修になりました。

エリアケアマネ連絡会

4半期に一度事例検討会開催。

困難事例を通し、講師のスーパーバイザーが入り、参加者が自ら気付く事や、アセスメントの向上になっています。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

①昨年度に引き続き、連合町内会への参加や運営推進会議への参加を継続しています。連合町内会では、町会ごとに、高齢独居及び高齢のみ世帯の把握を行うMAP作りを提案し、その作成に向けた協議・調整を進めています。また、他施設の運営推進会議では、地域の社会資源かつ福祉関係者として、SOS見守りネットワークの発見協力機関としての協力依頼を行い、登録を頂くと共に、入居者の皆様それぞれに徘徊の恐れがないかといった状況を改めて確認して頂き、必要があればネットワークへの事前登録も含めた対応依頼を行いました。

②7/11、11/28、1/30に個別地域ケア会議を実施。昨年度からの個別ケース会議において、「地域による見守り体制の構築」と「相談先としてのケアプラザの認知度」が共通した課題として見られています。これを受け、3/30に民生ケアマネ連絡会の場を利用して「地域との繋がり作り」「相談先としてのケアプラザの周知」といったテーマでの包括レベルの地域ケア会議を開催いたしました。

介護予防事業

介護予防事業

今年度、4月に立ち上げた「いきいきシニア体操」を1回/月、12月まで実施。H29年1月より自主活動グループになりました。

ケアプラザにて講座の実施

【参加者】

歯科衛生士 10名

管理栄養士 10名

(地域活動グループへの支援)

①星の丘ビューシティーに4月より1回/月介護予防体操を開始しました。

②歯科衛生士による講座を水道山自治会館、坂本町内会館で実施

【参加者】

水道山自治会館 13名

坂本町内会館 9名

管理栄養士の講座は星ヶ丘自治会館にて行いました。

星ヶ丘自治会館 19名

仏向地域ケアプラザ10周年記念講演として、ケアプラザ協力医である三村医師による認知症予防の講演会を地域向けに実施しました。

きらり★シニア塾は検討中です。

生活支援体制整備事業

保土ヶ谷区独自の事業周知用チラシを作成し、そのチラシを基に、地域の活動場所に伺って、事業内容・役割の説明を行いました。包括の相談表を分析し、ケアマネージャー（CM）を対象に、介護保険で対応出来なかった事のアンケート調査を行いました。また、区社協と連携し、各自治会・町内会、地区社協へのヒアリングを実施しました。

沢山の視点からアセスメントを進め、地区全体の課題は把握出来つつあります。今後は包括・地域交流と連携し、個別のニーズ把握・分析が出来るような仕組みを作ろうと考えています。個別の課題情報共有（見える化）の手段の一つとして、当初、マップの活用を考えましたが、あまり上手く行きませんでした。来年度は個別のチェックリストを作成し、分析していく予定です。

より活動の細かな情報収集を行うため、各活動に伺い、内部向けの情報資料も作成しました。また、地域福祉保健計画では、今年度「仏向の様々な活動を知ろう」をテーマに取り組を進め、地域の方々の協力を得ながら、既存の3倍の情報量の地域情報誌を完成させました。民児協の定例会や各自治会・町内会での活動に参加し、支援者や住民の声を聞ける環境づくりを心がけました。特に民児協では民生委員としての考えや個別のケース等についても情報を得られるような関係性になってきています。関係性が築けた事で、今まで参加できていなかった地区社協の役員会にも年度末から参加できるようになりました。地域交流と連携し、「館内利用団体説明会」で利用団体と地区の現状を共有し、さらに包括と連携した「地域活動者とCMの懇談会」で地区の活動や課題を共有しました。10月の「運営協議会」で、地域の方々と仏向地区の現状と課題の整理・共有を行い、1月24日に協議体「移動手段を0から考える会」を設置・開催しました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 仏向地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	18755	22841	151						5789
	介護保険収入					9996	81394	7002	6321	
	その他									
	介護予防ケアマネジメント費				9308					
	利用者等外給食費収益				265	86	995			
	受入研修費収益						12			
	国庫補助金等特別積立金取崩額					639	5748			
	雑収益						321			
収入合計(A)	18755	22841	151	9573	10721	88489	7002	6321	5789	
支出	人件費	9639	18656			9179	58821		2849	4958
	事務費	2402	1796			791	7500		377	
	事業費	514	301	151		67	5380		264	71
	管理費	2731	726			490	5137		251	
	その他				6153					
	介護予防委託費				6153					
	利用者等外給食費					95	1098			
	減価償却費					859	7735			
	消費税	771								
支出合計(B)	16057	21479	151	6153	11481	85671		3741	5029	
収支 (A) - (B)	2698	1362	0	3420	-760	2818	7002	2580	760	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
お部屋の開放	未就園児とその親						
	367						
	0	0	0	0	0	0	0
どんぐリング	未就園児とその親						
	368						
	12月のみ200円	50,349	0	4,400	36,751	13,598	0
大きなお絵かきをしよう	小学生以下						
	182						
	0	0	0	0	0	0	0
自主製品販売場所の提供・調整	地域						
	1444						
	0	0	0	0	0	0	0
絵手紙クラブ	地域						
	21						
	100円	6,000	0	1,600	0	0	6,000
囲碁・将棋クラブ	地域						
	804						
	0	0	0	0	0	0	0
おもちゃの病院	地域						
	39						
	0	0	0	0	0	0	0
わんあっぷ教室	子育てに不安のある親と乳幼児						
	193						
	0	128,007	0	0	122,507	0	5,500
ボランティア交流会	地域						
	20						
	0	25,381	0	0	3,341	22,040	0
語りべと歩くまち「保土ヶ谷公園施設巡り」	地域						
	28						
	0	0	0	0	0	0	0
よくばりダンスどんだけ～♪	子育て中のママ						
	15						
	大人1人200	11,136	0	1,200	11,136	0	0
Bホップダンス	障がい児・者						
	199						
	1家族200	55,680	0	17,600	55,680	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
仏向農園	地域						
	131						
	0	20,468	0	0	0	9,668	10,800
仏向ミュージックカフェ	高齢者						
	217						
	0	45,299	0	0	36,751	8,548	0
ふれあい「音」広場	地域						
	109						
	100 (12月のみ500円)	16,126	0	15,200	0	16,126	0
じゃがいもカフェ	高齢者						
	50						
	0	25,034	0	0	15,591	6,443	3,000
「地域包括支援センターと介護支援専門員の役割」講座	施設職員						
	11						
	0	0	0	0	0	0	0
本の貸し出し事業	地域						
	231						
	0	0	0	0	0	0	0
社交ダンス	高齢者						
	37						
	100	5,000	0	3,700	5,000	0	0
いきいきシニア体操	高齢者						
	151						
	0	50,112	0	0	50,112	0	0
【生涯学習】 ボールペン字講座	高齢者						
	85						
	0	33,410	0	0	33,410	0	0
【生涯学習】 座ったままできるフラダンス	高齢者						
	66						
	0	0	0	0	0	0	0
仏向バンドプロジェクト	地域						
	48						
	0	10,590	0	0	10,023	567	0
サマーボランティア	子供						
	21						
	0	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ビニールプールで水遊び	乳幼児						
	118						
	0	0	0	0	0	0	0
ママたちの ストレッチ&ダンス	子育て中のママ						
	122						
	ママ1人200	38,976	0	14,000	38,976	0	0
親子でリズム遊び	未就園児とその親						
	111						
	0	11,136	0	0	11,136	0	0
ほっとフレンズ2016夏 ボランティア研修・研修会 夏まつり	障がい児						
	60						
	500	0	0	0	0	0	0
「介護保険の制度とサービス」についての説明会	地域						
	257						
	0	0	0	0	0	0	0
絵本読み聞かせとわらべうた	乳幼児						
	37						
	0	0	0	0	0	0	0
みんなで人形劇を見よう	子供						
	107						
	0	22,274	0	0	22,274	0	0
歯科衛生士講座	高齢者						
	32						
	0	33,411	0	0	33,411	0	0
栄養講座	高齢者						
	29						
	0	22,274	0	0	22,274	0	0
太極拳講座	高齢者						
	53						
	200	33,408	0	7,800	33,408	0	0
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会in仏向	高齢者						
	10						
	0	0	0	0	0	0	0
女性団体協議会向け認知症 サポーター養成講座	女性団体協議会						
	9						
	0	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 予 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
仏向小学校福祉教育 (高齢者疑似体験)	仏向小						
	79						
	0	0	0	0	0	0	0
ほどがや区民まつり地域活 動交流ブース	地域						
	450						
	0	0	0	0	0	0	0
語りべと歩くまち「仏向の畑 めぐり りとみかん狩り」	地域						
	35						
	0	1,300	0	0	0	0	1,300
薬膳料理	地域						
	10						
	700	7,301	0	7,000	0	7,301	0
館内利用団体交流会	地域						
	36						
	0	3,170	0	0	0	3,170	0
じゃがいもフェスタ	地域						
	200						
	0	53,982	0	0	5,568	48,414	0
クリスマスコンサート	地域						
	85						
	0	34,395	0	0	32,295	2,100	0
クリスマスと お正月の寄せ植え	地域						
	12						
	1000	13,985	0	12,000	0	13,985	0
認知症講演会	地域						
	35						
	0	0	0	0	0	0	0
尿漏れ予防と排泄ケア	高齢者						
	20						
	0	0	0	0	0	0	0
認知症サポーター養成講座	地域						
	171						
	0	0	0	0	0	0	0
区内病院認知症講座	患者様とその家族						
	70						
	0	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
パパデー	乳幼児とその父						
	52						
	0	0	0	0	0	0	0
10周年祭	地域						
	200						
	出店に伴う売上あ	48,117	0	32,300	0	48,117	0
仏向男の料理倶楽部と Bホップダンス交流会	障がい者						
	22						
	500	13,675	0	10,500	3,341	10,334	0
さあ、気分よく歩きましょう！	地域						
	34						
	0	0	0	0	0	0	0
ノルデックウオーキング講座	高齢者						
	10						
	0	17,137	0	0	16,705	0	432
介護予防リーダー研修	地域						
	18						
	0	17,819	0	0	17,819	0	0
「介護・相続でもめない損をしない！」司法書士講座	地域						
	18						
	0	0	0	0	0	0	0
自宅での安心生活！-悪徳 商法防止編-	地域						
	8						
	0	0	0	0	0	0	0
出張相談	高齢者						
	13						
	0	0	0	0	0	0	0
親子でアートしよう	乳幼児と親						
	45						
	0	6,926	0	0	5,568	1,358	0
ほっとフレンズ2017春 ボランティア研修説明会	障がい児						
	61						
	500	0	0	0	0	0	0
親子でドラムを叩こう ～音楽で心と身体を うごかそう～	障がい児と親						
	26						
	1組200	0	0	0	0	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
仏向フェスタ	地域						
	190						
	出店に伴う売上あ	19,948	0	5,900	0	19,948	0
合同ケアマネ連絡会	事業所						
	970						
	0	1,800	0	0	0	0	1,800
エリアケアマネ連絡会	事業所・地域						
	199						
	0	68,343	0	0	59,023	9,320	0

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お部屋の開放	<p>【目的】 子育て中の親子の居場所をつくることで、子供同士、または親同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】 出入り自由、プログラム無しの気軽に立ち寄れる親子の居場所、交流の場として解放。 ケアプラザの自主事業終了後や育児相談のあと実施。</p>	<p>●第1・3火曜日、木曜日（第2は除く）を主に、単発での子育て事業終了後（不定期） 計62回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どんぐリング	<p>【目的】 子育て中の親子を対象にコミュニケーション作りの支援と、親または子供同士の交流を図ることを目的に開催する。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区で活躍している保育ボランティアかるがもキッズを講師に実施。 季節の行事や親子で遊べる手遊びや工作を参加者親子と共に楽しむ。</p>	<p>●毎月第3火曜日 計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大きなお絵かきをしよう	<p>【目的】 仏向地域の子供達を対象に、普段できない大きな窓ガラスに自由な発想で「お絵かき」を楽しんでもらうことで、遊ぶ場の少ない地域で親子の居場所として実施。</p> <p>【内容】 エントランスにある窓ガラスに色とりどりの水性マジックペンでお絵かきができる場の提供をしている。親子同士の交流の場として、親子の居場所として活用されている。 開館日の9時～17時いつでもお絵かきができるため、いつでも気軽にケアプラザに立ち寄ることができる。</p>	<p>●開館日（随時） 計353回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自主製品販売場所の提供・調整	<p>【目的】 区内にある障がい者施設の自主製品販売の支援と共に、商業施設の少ない当ケアプラザエリアで地域のためにパンや豆腐を購入できる場所を提供することを目的に実施。</p> <p>【内容】 いわまワークス、ダンボの会、とうふ工房夢21の障がい者の方々が製品販売。 販売を通して、障がい者と地域の方々の交流の場になっている。</p>	<p>●第3火曜日、毎週木曜日を主に子育て事業終了後（不定期） 計69回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絵手紙クラブ	<p>【目的】 絵手紙に興味のある方またはこれから始めてみたい方を対象に、同じ趣味をもつ方々の仲間づくりと交流を目的に実地。地域で絵手紙を通して交流できるボランティア団体に発展させていきます。</p> <p>【内容】 地域にお住まいの方を講師にお招きし、季節の花や野菜をモチーフに絵手紙を作成します。絵手紙を通して高齢者、障がい者との交流を行っています。認知症カフェや老人会、ミニデイでの講師をクラブの参加者で積極的に行っている。</p>	<p>●毎月第2火曜日 4～7月まで。 計4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋クラブ	<p>【目的】 同じ趣味をもつ男性高齢者の地域交流の場として実施。夏休みなど学校の長期休暇の時は小学生と交流する。高齢者施設や小学校で将棋や囲碁を通しての地域交流を行うことを目的とする。</p> <p>【内容】 囲碁または将棋の手合わせをする。仏向小学校、坂本小学校へ出向き将棋を教えるボランティアをしてきましたが、参加者の高齢化が進み、体調などをみながらコーディネーターしています。</p>	<p>●4～3月 週1回 (火曜日) 最終週は月曜日 計50回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの病院	<p>【目的】 特技をいかしてボランティア活動をしている、おもちゃ再生館の卒業生の活動の場や地域の方との交流の場づくりを目的に実施。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区の生涯学級「おもちゃ再生館」の卒業生、おもちゃドクターが地域の方々の壊れたおもちゃを可能な限り修理します。親子参加者の多いどんぐりリングの日に「おもちゃ再生館」の方に来ていただき、地域の方々と交流しやすい場づくりをしています。</p>	<p>●5月、9月、11月 2月 計4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんあっぷ教室	<p>【目的】 子育てが大変と感じている親子を対象にミュージックケアを行い五感を刺激することで子供の発達を促す。また子供への正しい関わり方を親に理解してもらうことで、その後の生活においても子育てに対する悩みを軽減することを目的とする。</p> <p>【内容】 音楽療法士によるミュージックケアと育児相談。</p>	<p>●毎月第3金曜日 (1月お休み) 計11回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>【目的】 ボランティア登録をして定期的に活動してくださっているボランティアさんに感謝の意をお伝えするとともに、活動内容が違い交流する機会の少ないボランティア同士の交流を深める。また今後も継続していただけるように実施。</p> <p>【内容】 男の料理教室のメンバーが調理した料理をバイキング形式で歓談しながら食事会。 ボランティアさんが活動内容を発表。音楽ボランティアさんによる演奏で皆さんで合唱して楽しむ。</p>	●4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語りべと歩くまち 「保土ヶ谷公園施設巡り」	<p>【目的】 ほ도가や語りべ集の編集に関わった方々と一緒に企画・運営を行う。語り部集に載っているポイントを中心に、ウォーキングをしながらまちの魅力を再発見するとともに、地域の方々との交流を図る。</p> <p>【内容】 「ほ도가や語りべ集」を活用し、地域の社会資源を活用した企画を実施。 今年度1回目は「保土ヶ谷公園施設巡り」を実施。 6月9日(木) 10:00～12:00 打ち合わせと下見 6月24日(金) 9:30～13:00 語りべと歩くまち「保土ヶ谷公園施設巡り」を実施。 【生活支援と地域活動交流の合同事業】</p>	●6月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よくばりダンス どんだけ～♪	<p>【目的】 子育て中のママを対象に、ダンスを通しての親同士のふれあいや交流を図る。</p> <p>【内容】 音楽に合わせて、みんなでダンスを踊る。子供の保育は、保育ボランティアさんにみていただき、ママ同士の交流を深める。</p>	●4月、5月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Bホップダンス	<p>【目的】 障がい児・者余暇支援にとどまらず、地域の方々との交流をめざす。障がい児・者とその家族が何を必要としているかを把握する。</p> <p>【内容】 障がい児・者支援にも協力しているヒップホップダンスの講師を招き障がい児・者とその家族皆さんでヒップホップダンスを楽しむ。</p>	●6月～3月 計10回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仏向農園	<p>【目的】 高齢者の引きこもり防止に仏向ケアプラザの周辺にある畑を利用して野菜作りを実施。 収穫した作物は男の料理のメンバーと協力して調理して食事会を実施。</p> <p>【内容】 仏向地域ケアプラザ近隣に農地を借り、地元の畑仕事に詳しい方の指導のもと季節の野菜を作る。発達障がい者を対象に活動している、発達らいふの上田知子氏には、畑作りを通してお互いの持っている障がい者の求めている情報の交換や仏向地域ケアプラザで行っている事業の紹介をしている。今後の互いの事業にプラスになるよう交流を続ける。</p>	<p>●不定期 37回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向ミュージックカフェ	<p>【目的】 地域住民へ多人数で歌を歌う機会の提供と交流の場として定期的な開催を続ける。また、二次予防対象者把握の場としても活用する。</p> <p>【内容】 地域にお住いのピアノの先生を伴奏ボランティアとしてお願いし、合唱や輪唱、手遊びなどを1時間30分行う。途中で7～8分のティータイムをとりお菓子を提供している。</p>	<p>●毎月第3土曜日 (8月は除く) 計11回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい「音」広場	<p>【目的】 地域の方々がほっと一息つける居場所をつくり、地域の方々の交流を図ることを目的に実施。 27年度までは主に高齢者のサロン「ぶっこう茶屋」として実施していたが、多世代交流が地域の課題としてあがり、定期的に参加して頂いているボランティアによるレコード演奏と子供向けの空間を作る事で世代を超えた交流の場作りを目指し28年度から名称変更。</p> <p>【内容】 きめられたプログラムはなく、地域の方々がおもいおもいに寛げる場所を提供すると共に、ボランティアの助力を得て、子育て世代の参加も始まっている。</p>	<p>●毎月第4土曜日 計12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
じゃがいもカフェ	<p>【目的】 認知症の予防について学んだり、カフェのような雰囲気に参加者同時が交流する場を設定。認知症の人も、そうでない人も気軽に参加できる居場所作りを行う。</p> <p>【内容】 毎回テーマを設け、幅広く参加者を募集する仕掛けを行っており、テーマに沿った活動を行う。この募集を通して、閉じこもりからくる認知症の発症を予防できるきっかけとなることを話すなど、大元に認知症とその予防がテーマとしてあることを意識して頂ける構成としています。 また、今年度からキャラバンメイトの方たちに企画段階から参加して頂き、カフェの終盤にはコグニサイズを実施、より認知症対策(予防)の特徴づけをしている。</p>	<p>●偶数月第1土曜日 計6回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「地域包括支援センターと介護支援専門員の役割」講座	<p>【目的】 包括担当域内の有料老人ホーム居住者が介護保険サービスを利用するにあたり、家族、本人、施設側、介護支援専門員間でのコミュニケーション不足、連携不足により、混乱を招くことがあった。そのため、各立場の役割についての正しい理解をし、利用者及びその家族に不利益を与えることを未然に防げる環境を作る。また、今回の講座をきっかけに包括施設間の連携強化を図り、ケアプラザでの事業への参加や、サポーター養成講座の開催等に繋げる。</p> <p>【内容】 パワーポイントで作成した資料を基に1時間程度の講座を開催。地域包括ケアシステムの構築に向けた連携協力体制の強化をテーマとして行った。</p>	●6月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本の貸し出し事業	<p>【目的】 本の貸し出しコーナーを設けることで、仏向地域ケアプラザを身近な存在に感じていただき広く仏向地域の方に来館していただくことを目的に実施。情報発信コーナーの隣に設置し、本の貸し借りだけにとどまらず仏向地域ケアプラザからの情報発信の場としても活用する。</p> <p>【内容】 春夏秋冬、年4回保土ヶ谷図書館団体貸し出しで300冊前後の本を借りてきて、仏向地域ケアプラザ、エントランスに図書貸し出しコーナーを設置し、開館時間いつでも本の貸し出し、返却ができる。図書館、コミュニティーハウス、地区センターから遠い仏向地域において、子育て中のママと高齢者の利用が多く見られる。</p>	●開館日（随時） 計353回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンス	<p>【目的】 地域高齢者に初心者からステップを指導し、楽しく介護予防につなげる。男性の参加者が集まりやすい場をつくる。</p> <p>【内容】 昨年1月から今年度6月まで、月1回、参加費100円／人で募集をかけ実施。普段、囲碁、将棋に参加されている方などが社交ダンスに参加し身体を動かす事で健康の意識が高まる。楽しく取り組めたため、今年度10月から自主活動へ移行します。</p>	●4月、5月、6月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア体操	<p>【目的】 地域高齢者に楽しみながら介護予防の体操に取り組んでもらい、脳の活性化をはかるため、コグニサイズを取り入れてもらう。</p> <p>【内容】 椅子に座って出来る介護予防の体操とコグニサイズを導入し、健康の保持増進をはかる。</p>	●4月～12月 計9回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【生涯学習】 ボールペン字講座	<p>【目的】 「生涯学習」と銘打ち、継続的に講座を開くことで、現時点では介護サービスを必要としていない地域の高齢者の参加を促します。この講座は、「ボールペン字」という日常生活に密接に結びつく部分をテーマとして扱い、「介護」色を薄めることでこれまでケアプラザの事業に参加してこなかった方の参加を狙います。これによって、引きこもりを予防し、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】 昨年度3/3に第一回を開催し、告知期間が短かったにも関わらず6名の参加を頂きました。その後、ケアプラザの広報紙等での周知を行った結果、7/7開催では13名の参加と2名のキャンセル待ちがいる状況となっています。今後は、連絡なしの欠席が続いた方をキャンセル扱いとし、キャンセル待ちの方を随時組み込んでいく予定となっております。</p>	<p>●毎月第1木曜日 (5月、1月お休み) 計10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習】 座ったままできるフラダンス	<p>【目的】 上記と同様、「生涯学習」を掲げた講座として行います。フラダンスが「座ったままできる」ことをセールスポイントとし、女性を中心として「体操や運動は立ち続けることが難しい」という思いをお持ちの方の参加を目指します。目的についても「ボールペン字講座」と同様、引きこもり予防につなげ、認知症等の介護が必要になる状態への進行の予防を目指します。</p> <p>【内容】 昨年度3/24に第一回を開催し、5名の参加を頂きました。その後、上記と同様広報紙等での告知を経て、6/24開催時には9名が登録している状況です。今後は、8月をメドに当ケアプラザのデイサービスでの発表会を目標として取り組んで行く予定となっております。</p>	<p>●毎月第4金曜日 (12月、2月、3月) 計9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向バンドプロジェクト	<p>【目的】 昔、音楽活動をしていた、地域に眠る音楽家、または今音楽活動をしている若い方たちで一つのバンドの結成を目指します。行く末はケアプラザ祭りやデイサービス、地域の方々に披露し、地域貢献活動のきっかけ作りを目的に開催します。</p> <p>【内容】 ケアプラザの周知、またお互いの交流を音楽というツールを通して行い、この先の生活での目線を地域活動に向けて頂く。 1. ケアプラザより事業の趣旨説明 2. 自己紹介・楽器紹介 3. 曲選定 4. 個人練習・合同練習 5. 全体演奏 6. 片付け</p>	<p>●4～7月 毎月第3土曜日 計4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーボランティア	<p>【目的】 中学生から大学生を対象に、ボランティア育成を目的に夏休みに実施。子育て中の親子や高齢者とのふれあいなど世代間交流を通して、地域や福祉について実際に活動する中で学んでいただく。</p> <p>【内容】 説明会を実施したあと活動をおこなう。ボランティア活動として、仏向地区社会福祉協議会主催の「おしゃべりサロン」、仏向地域ケアプラザデイサービス、自主事業でのボランティア活動。</p>	<p>●7月～8月 個人の希望する日程・時間で活動する 計10回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ビニールプールで水遊び	<p>【目的】 子育て中の親子の居場所をつくることで、子供同士、親同士の交流の場を提供する。 また、サマーボランティアの活動プログラムの1つにとりいれることで、世代間交流を図る。</p> <p>【内容】 2階バルコニーに水遊びスペースを設け、親子で水遊びを楽しむ。 学生ボランティアがプールの設営から見守り、片づけまでを仏向地区社協、ケアプラザと協力して実施。</p>	●7月、8月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママたちのストレッチ&ダンス	<p>【目的】 子育て中のお母さんのストレス解消、産後ママの骨盤しめ体操、親子で参加OK。 様々なママたちのリフレッシュを支援する。お母さん同士の交流を深める。</p> <p>【内容】 お母さんを対象に、ストレッチ体操、ヒップホップダンスを地域のお母さん達とともに楽しむ。 また、産後ママの骨盤しめ体操も講師より教えていただく。1回ごとに参加者同士協力して一つのダンス曲を踊り、完成させる。 子育てボランティアさんと職員による乳幼児の見守りもある。</p>	●7月～3月 毎月第1火曜日（8月、1月休み） 計7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でリズム遊び	<p>【目的】 未就園児とその親を対象にリズム遊びを通して、親子のスキンシップを図ると共に参加者同士の交流を促す。 また、心地よい音楽が流れているので親子共々リラックスでき、リフレッシュの場として実施。</p> <p>【内容】 ①1歳半～未就園児の親子対象②0歳～1歳半の親子対象と年齢別に時間をわけ、それぞれ、音楽に合わせて体を動かしたり、手作りの楽器でリズムをとったりスキンシップを図る。</p>	●9月、2月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2016夏ボランティア研修・研修会夏まつり	<p>【目的】 ①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。②障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】 区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会で余暇プログラムを企画。実行委員会のメンバーで、総務、会計、プログラム、ボランティアと4つのグループに分かれ当日まで役割を担った。室内プログラムで、参加者とボランティアがペアになり、模擬店と腹話術の鑑賞とバルーンアートの体験を楽しむ企画をたて、地域へ広報した。ボランティア募集は近隣の高校、大学19名のボランティアが参加した。またケアプラザのボランティア11名が調理やレクレーション補助として参加した。 実施日前にボランティア説明会を実施し、活動ホームゆめの職員によるボランティアのいろは、注意事項の説明を行い、障がいの理解に努めた。 参加人数の内訳①ボランティア説明会 15名②2016夏 参加者15名 ボランティア19名 ケアプラザボランティア11名経費については、今井地域ケアプラザが取りまとめを行い、総額88,715円でした。 そのうち、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金(92,000円)及び参加費(8500円x15人)を差し引き、残った1888円は区へ戻入れました。</p>	●8月 計2回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「介護保険の制度とサービス」についての説明会	<p>【目的】 ニュースや新聞ではよく聞くけど、実際は知っているようで知らない介護保険。介護保険の使い方を説明し、制度自体の理解を深めて頂きます。</p> <p>また、昨年度から始まった利用者負担割合や、各サービスの利用料の目安等、金銭面についても併せて説明を行います。</p> <p>【内容】 包括支援センター職員が自治会、町内会、老人会など指定の場所に伺い、介護保険の使い方、お金にまつわる話など分かりやすく説明します。</p> <p>また、講座の中で地域包括支援センターについての業務内容等も併せて説明し、地域における地域包括支援センターの周知度向上にも取り組みます。</p>	●9月、10月、11月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵本読み聞かせとわらべうた	<p>【目的】 子育て中の親子を対象に、絵本の読み聞かせとわらべうたを通して親子のふれあいと交流の大切さを楽しみながら学ぶ。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷図書館の司書さんに講師を依頼し、絵本の読み聞かせとわらべうたを実際に行っていただき楽しみながら、親子のふれあいの大切さを教えていただく。</p> <p>内容：絵本の読み聞かせ、絵本の選び方のアドバイス、わらべうたの実演。</p> <p>おすすめの絵本を紹介。 手にとって親子で絵本を見る時間もある。</p>	●7月、1月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで人形劇を見よう	<p>【目的】 人形劇の観劇を通して、仏向小学校はまっ子と地域の乳幼児親子との交流をめざす。</p> <p>【内容】 地域で活動している人形劇ボランティアさんに人形劇、パネルシアターを演じていただき地域の親子や仏向小学校はまっ子の児童と一緒に観劇。</p> <p>人形劇が終わった後に人形劇団のメンバーと子供達の質問コーナーも設け、交流を促した。</p>	●7月、3月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歯科衛生士講座	<p>【目的】 地域高齢者に対し、口腔機能向上のための指導を実施</p> <p>【内容】 歯ブラシの仕方、入れ歯の手入れのしかた、咀嚼力判定ガムにてかむ力の判定、口のリハビリの実施を通し、日常生活を振り返る。</p>	●7月、9月、10月 計3回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
栄養講座	<p>【目的】 日々の食生活を振り返り、バランスが取れているか見直す学習の機会とする。</p> <p>【内容】 バランスのとれた食事とは、どういうことをいうのか、あと何をたせば整うのか知る。また、嚥下能力のさがっている人にトロミ剤の紹介をする。</p>	●9月、10月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太極拳講座	<p>【目的】 地域では体操を初めとした様々な介護予防の取組がなされているが、男性の参加があまりない。定年退職後の男性の社会参加というのは地域の課題として挙がっており、そういった新たな担い手となりうる男性の確保・健康増進・介護予防の目的で開催する。</p> <p>【内容】 70代後半から太極拳を始めて、87の現在もどこも悪くない。太極拳を始める前は体の調子が悪かったという方に実際の経験談をお話し頂いて開始。 ・準備運動・ストレッチ ・練功十八法前段・入門太極拳</p>	●9月～11月 第1・3月曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会in仏向	<p>【目的】 よこはまシニアボランティアポイント事業を活用し、まずはエリア内施設でのボランティア活動に興味を持っていただく事を目指します。施設内の活動を個人で継続していく中で新たな仲間・視点が生まれ、ゆくゆくは仲間同士で団体を作ったり、地域での担い手・支援者となるよう研修会の後も支援していきます。</p> <p>【内容】 1. よこはまシニアボランティアポイント事業の概要 2. ボランティアとは 3. ボランティア活動始めるにあたって</p>	●7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
女性団体協議会向け認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 区内全域で包括エリアをまたがって活動している女性団体協議会を対象とし、認知症サポーター養成講座を行うことで、日々の活動の中での見守りに繋げる。また、メンバーやその家族が「認知症は誰でもなり得る病気」という認識を持ち、より身近な問題として考えて頂く契機とする。</p> <p>【内容】 今井地域ケアプラザ、仏向地域ケアプラザ、星川地域ケアプラザの各包括合同事業として実施。会場を星川地域ケアプラザ2F多目的ホールに設定し、サポーター養成講座の内容を分担して話す。また、参加者の方々にも寸劇の登場人物としてご協力頂き、「目的」内の「より身近な問題として考えて頂く」ための手段とした。</p>	●10月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仏向小学校福祉教育（高齢者疑似体験）	<p>【目的】 今後地域を支えていくことになる子どもたちに向けて、高齢者が実際にどんな状態で町を歩いているかを体験してもらう。 この体験を通して、自分たちにはどういったことが出来るのかを考えてもらい、地域の福祉力の底上げを目指す。</p> <p>【内容】 高齢者疑似体験セットを用い、実際に高齢者がどういった身体状況かを知ってもらい、普段何気なく行っていることが高齢者にとっては大変さを伴うことを体験してもらった。実施の際は、3人一組となり、体験をする一人を残り二人がサポートするという形式を取り、介護する側・される側の両方の視点で「どうすれば高齢者にとって最も安心・安全か」といった点を考えながら進めるよう工夫して行った。</p>	●12月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほどがや区民まつり地域活動交流ブース	<p>【目的】 区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。 そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】 福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行った。 来場者に声をかけ、前回の内容を更に工夫し、マップは各CPで掲示できる様式にて作成。区民まつり来場者に声をかけ、マップにおススメの場所などを地図上に記入をしてもらった。区全体のマップを前方目立つように置いて来場者の興味がわくようにした。同時に来場者のケアプラザに対する実態をしるアンケート調査を実施した。 マップを該当エリア毎に作成し、ケアプラザの職員が来場者と直接コミュニケーション図れるよう工夫した。その他、該当エリアにある広報紙の配布や生活支援コーディネーターの周知も実施した。</p>	●10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
語りべと歩くまち「仏向の畑めぐりとみかん狩り」	<p>【目的】 「ほどがや語りべ集」の編集に関わった方々と企画・運営。語りべ集に載っているポイントを中心に、ウォーキングでまちの魅力を再発見し、地域の方々と交流を図る。</p> <p>【内容】 今年度は参加者募集と同時に見守りボランティアの募集を行った。 ボランティア希望者は当日30分前に集合し、ルートの確認・注意点などを共有した。 今年度から生活支援と共催としたため、地域の魅力を再発見すると同時に、地域に眠る見守りボランティア発掘に力を入れた。 また、ほどがや・まち・文化振興会の方や地域の農家と企画段階から話し合い、新たな取組みとして、終着点で「保土ヶ谷弁当」を参加者（地域の方々）と共に食しながら交流をした。 ・12/7（水）語りべと歩くまち「仏向の畑めぐりとみかん狩り」を実施。35名参加（ボランティア7名）</p>	●12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬膳料理	<p>【目的】 寒くなり、風邪などの感染症も流行し始める、この時期に食事の面から健康な体を維持することを地域の方々と共に学びます。 また、講師を当ケアプラザのケアマネジャーが、最新の介護保険情報を伝え、地域で安心して暮らすための知識も同時に学びます。</p> <p>【内容】 講師：飯島裕美氏（仏向地域ケアプラザ ケアマネジャー） 1. ケアプラザの4つの機能についてとこれからの自主事業紹介。 2. 介護保険の最新情報。 3. 薬膳料理（調理実習） 4. 試食。 5. 質疑応答。</p>	●11月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
館内利用団体交流会	<p>【目的】 館内利用団体を対象に、団体同士の親睦を図り仏向地域ケアプラザの社会資源を広げていくことを目的に開催。</p> <p>【内容】 館内利用にあたっては、ポイントのみを伝え、他の団体がどんなボランティア活動をしているかを紹介した。 今回は生活支援コーディネーターも参加し生活支援体制整備事業の観点から、地域の現状を伝え、利用団体の皆さんと共有した。 参加している利用団体のリーダーの方々は、地域のリーダーでもあるので、今回は防災訓練に力を入れた。保土ヶ谷消防署の指導者より消火訓練・AED・心肺蘇生の講習会を実施。熊本震災の影響もあり真剣に取り組んだ。 今後も、防災訓練は継続していく</p>	●7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
じゃがいもフェスタ	<p>【目的】 利用団体の発表の場として、また団体同士の横のつながりや地域の絆を深めることを目的とする。土曜日に開催することで普段ケアプラザに来られない方にも、ケアプラザの機能を周知することを目的とする。</p> <p>【内容】 仏向農園で収穫した野菜を利用団体の方々が協力して料理や菓子を調理して来館者と共に食し、親睦を深める。音楽やダンスなどの利用団体の発表。包括支援看護師による体組成計と健康指導。午後からは認知症専門医の三村先生による講演会を中心にケアプラザの特性を活かした祭りを実施した。</p>	●10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>【目的】 世代を超えた地域住民同士の交流を図る。また、土曜日の夜間に開催するため普段ケアプラザに来られない方も来館できる。地域ケアプラザの周知をおこなうことを目的として開催する。</p> <p>【内容】 仏向地域ケアプラザや地域で活動している、地域の音楽家やダンスの先生に出演を依頼して、出演者とミーティングを重ね、コンサートを創り上げていく過程を大切にしている。 当日は地域の方々と共に声楽や様々なダンスと音楽の総合芸術を楽しむ。 仏向地区社協より軽食の提供があり、休憩時間に地域の方々と親睦を深める。</p>	●12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスとお正月の寄せ植え	<p>【目的】 多目的ホール ウッドデッキを利用して地域の方々と共にクリスマスと正月の行事を楽しむ。アンケート調査の中に多目的ホール南側ウッドデッキを利用した企画の要望があった。それを踏まえて今回の自主事業を実地する。事業を手伝ってくれるボランティアさんを募集してボランティアさんの発掘も同時におこなう。</p> <p>【内容】 1. 講座の前に仏向地域ケアプラザの仕事の内容や4月からの利用マニュアル変更を周知する。 2. クリスマスと正月の時期から来年の春まで楽しめる寄せ植え作り講習会と親睦会。</p>	●12月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症講演会	<p>【目的】 ケアプラザ10周年の記念講演として、協力医より地域住民に向けて認知症の講演会を実施する。認知症の理解と予防及び対応の方法の周知をはかる。</p> <p>【内容】 10周年のお祭りの中の一部として、午後から開演した。お昼をはさんでの午後からの開演だったため、参加者数が気がかりだったが、まあまあの参加者が確保でき、よかったと思う。高齢者だけでなく、若い世代の参加も見受けられた。</p>	●10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
尿漏れ予防と排泄ケア	<p>【目的】 地域高齢者に対し、腹圧性尿失禁及び前立腺肥大など尿トラブルを感じている対象者に対して、そのメカニズムの学習の機会を設け、尿漏れ予防の体操の周知ができる。</p> <p>【内容】 ユニ・チャームの派遣により、パワーポイントを使って、尿漏れにつながるメカニズムの説明があり、尿漏れ予防の体操の紹介と実施を行う。また、尿漏れがある場合、どのような製品を使ったらいいか紹介をしてもらった。すでに、紙オムツを使用して寝たきりになっている対象者に、尿漏れを防ぐ正しいオムツの当て方の指導を受ける。</p>	●11月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 認知症サポーター養成講座の養成講座を行い、認知症の方たちが暮らしやすい地域を作る。また、講座開催への準備等の中で、地域や団体の方たちとの関係性向上を図る。</p> <p>【内容】 公式の認知症サポーター養成講座テキストを使うと共に、寸劇等参加団体に合わせて内容をカスタマイズして実施。</p>	●11月、12月、3月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内病院認知症講座	<p>【目的】 病院に診察に訪れる方やその家族を対象として認知症講座を開くことで、普段ケアプラザに来る機会のない層へ、認知症に関する正しい知識を持って頂く機会とする。 また、併せてケアプラザに関する周知活動も行うことで、区内全体でのケアプラザへの認知度向上も目指す。</p> <p>【内容】 10/22に育生会病院、11/4に横浜保土ケ谷中央病院で講座を実施 育生会病院では、病院側から「地域包括ケア病棟」と「認知症について」、「老健、特養の違い」の部分の講演を実施。また、ケアプラザからは「自宅での生活を支える役割と機能」と題し、包括の役割を中心とした講演を実施した。 横浜保土ケ谷中央病院では、区役所から「地域包括ケアシステムについて」、横浜保土ケ谷中央病院側から「認知症について」と「地域包括ケア病棟」の部分の講演を実施。また、ケアプラザからは「介護保険・地域ケアプラザの役割について」と題し、包括の役割を中心とした講演を実施した。</p>	●10月、11月 計2回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパデー	<p>【目的】 日頃、仕事で育児にかかわる時間の少なしパパが体を使って子供と純粋に楽しむことを目的とする。 またパパ同士の気軽な話し合いの時間を設けパパ同士の絆を深める。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころとの共催事業で「バランスボールで遊ぼう！」を実施。講師の指導のもと、大きなバランスボールを使って親子で楽しむ。 また日頃の育児の悩みを男親同士で気軽に話し合う時間も設ける。</p>	●1月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
10周年祭	<p>【目的】 地域の方々と10年間の歩みを振り返り、今後もより一層地域の方々とのつながりを深め発展していくことを目的に開催。</p> <p>【内容】 部屋利用団体による、発表会を行う。 地域にボランティア活動で貢献した団体に表彰状を授与。また地域で活躍されている 自治会長や仏向地区社協、地域の方々と共に10周年を祝う会を実施。 10年間の歩みを振り返る写真展の実施。</p>	●2月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仏向男の料理倶楽部とBホップダンス交流会	<p>【目的】 障がい者とその家族と地域の方々の交流の場を設け、お互いの理解をより深める。</p> <p>【内容】 仏向男の料理倶楽部の方々が昼食を調理し、Bホップダンスに参加している障がい者とその家族と共に食事をする。お互いの自己紹介をしたり、質問をしあったり、食事をしながら交流する。</p>	●2月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さあ、気分よく歩きましょう！	<p>【目的】 ウォーキングに関心のある人を対象に体力測定をして、自分の身体、体力にあったウォーキングを学び健康な心身を維持することを目的に実施。</p> <p>【内容】 ウォーキングを続けたいと思っている人、ウォーキングに関心のある人を対象に、体力測定をして、運動講師によるお話と実技を実施。体力測定は地域の保健活動推進委員の協力で行う。実技は室内で講師の指導のもと行った後、ケアプラザの外に出て橋中学校など近隣を一周する。</p>	●3月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ノルデックウオーキング講座	<p>【目的】 仏向地域の公園にて、地域対象者を中心にノルデックウオーキングの始め方講座を実施。</p> <p>【内容】 ノルデックウオーキングを初めての方に、基本的な指導を取り入れる。(ポールを持ち方、歩き方等) 昨年まで7ケアプラザ合同で行っていたが、多数の参加があったため、既にやったことがあったかたは、自己流のやり方になっていたため、今回の講座開催は経験者にも学習の場につながった。次年度、時期を空ける事なく開催し、定期的に行い自主化を目標としたい。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防リーダー研修	<p>【目的】 仏向各地域の活動グループのリーダーとケアプラザの自主グループのリーダーを選出し、グループの活性化を図る為、介護予防のリーダー研修を実施する。</p> <p>【内容】 仏向地域(睦ヶ丘、水道山、坂本、コンフォール仏向、星ヶ丘、星の丘ビューシティー、仏向町内会館)の活動リーダー及びケアプラザ自主グループ3つの各リーダーを集め、連絡会及び各活動の活性化をはかるため健康運動指導士を招き介護予防の講座を実施。(シナプソロジーの紹介、実施を含む)</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「介護・相続でもめない損をしない！」司法書士講座	<p>【目的】 住み慣れた自宅で出来る限り生活を続けていくために、元気なうちから今後のことを準備する必要性、重要性を伝える。また上記と併せて、困ったときの相談先としてのケアプラザ(包括)の存在を周知する機会とする。</p> <p>【内容】 相続等、金銭の絡む案件について、早目に対応する必要性は感じていながらも、どうやって処理を進めていいかわからない方々への啓発を行う。その手法として2部構成を取り、前半を全体講座、後半を個別相談会として実施。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自宅での安心生活！-悪徳商法防止編-	<p>【目的】 振り込め詐欺をはじめとして、近年手口の多様化している消費者トラブルについての最新の情報を地域住民に知ってもらい、被害の拡大を防ぐ。また、講座に参加した方からの近隣住民への周知を通して、地域の連帯強化も狙う。</p> <p>【内容】 横浜市消費生活総合センターに集積される、実際の詐欺の手口を紹介してもらった。参加者は高齢者が大半だったため、ただスライドによる講義を行うのではなく、DVDやクイズ・ビンゴ形式を取り、参加型の講義を展開した。その後、この講座に参加した地域の自治会から、資料を自治会で配りたいという要望があり、地域での意識の高まりも確認することが出来た。</p>	●1月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談	<p>【目的】 移動等、ケアプラザまで来ることが難しい方たちに対し出張相談を実施。早期の介護予防に繋げると共に、ケアプラザの周知を併せて目的とする。</p> <p>【内容】 自治会館等の場を借りて包括支援センター職員が出張相談を行う。介護保険新規認定申請のみならず、すでに介護保険サービスを利用している方にとってのセカンドオピニオン的な立ち位置としても利用して頂く。</p>	<p>●2月、3月 毎月第1土曜日 計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でアートしよう	<p>【目的】 家庭にある身近なものを使って親子で楽しく遊べる方法や遊びを通じての子どもとのかかわり方を実践的に学ぶ。 また地域の親子が多数参加するため親同士子ども同士の交流の場として開催。</p> <p>【内容】 アート遊びを積極的に行っている子育て支援者を講師に、親子の関わりかたを実践的に学ぶ。トイレットペーパー1まきを使いペーパーを丸めてボール遊びをしたり、親子で想像力をいかした遊びを実施した。</p>	<p>●3月 計1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2017春 ボランティア研修 説明会	<p>【目的】 ①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。②障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】 区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会で余暇プログラムを企画。実行委員会のメンバーで、総務、会計、プログラム、ボランティアと4つのグループに分かれ当日まで役割を担った。室内プログラムで、参加者とボランティアがペアになり、模擬店とマラカスを作り仏向バンドと音楽遊びを楽しむ企画をたて地域へ広報した。 ボランティア募集は近隣の高校、大学などに案内を郵送。また高校のボランティア部に直接依頼。高校生、大学生など8名のボランティアが参加した。調理補助ボランティアも参加した。実施日前にボランティア説明会を実施し、保土ヶ谷善</p>	<p>●3月 計2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でドラムを叩こう～音楽で心と身体をうごかそう～	<p>【目的】 ①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。②子どもたちの安全で安心して過ごすことのできる居場所としてケアプラザの周知を行う。③関係諸学校及び諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。④本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機会とする。</p> <p>【内容】 超音楽のお遊び集団じゃねんずを講師に招き、親子でドラム等の楽器演奏とダンスを楽しむ機会を提供。1部がドラムワークで、お茶会で交流後、2部がダンスワークを実施。親子が一緒に楽しむことで親が子どもの成長を確認できた。また、親もストレス発散をして喜んでた。1/22、地区センターで実施。</p>	<p>●1月 計1回</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市仏向地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仏向フェスタ	<p>【目的】 仏向地域福祉保健計画にのっとり、「子どもから高齢者まで自然にあいさつができる町」を目指し、地域住民同士の交流の機会を増やすと共に、地域で活動する団体同士のつながり、また団体と住民のつながりも構築していく事を目的として開催する。また、第二期計画であがっていた、認知症についての理解普及も合わせて行っていく。</p> <p>【内容】 連合町内会による「やさそば」、スポーツ推進員による「射的・昔遊び」、地区社協による「おしるこ」、障がい者施設による「物品販売」、更生保護女性会による「ビスケット・あられ」、ケアプラザ利用団体男の料理による「豚汁」、青少年指導員による「カレー」などの模擬店。 区社協と地区社協による「フードドライブ」、地区社協（おしゃべりサロン）による「子どもの遊び場」を実施。 館内利用団体や地域団体の発表。また、認知症についてのクイズ（アンケート）も実施し、出店団体は胸に花をつけ話しかけないとクイズが回答できないという仕掛けを作り、団体と地域住民との繋がりを意識した取り組みを行った。また、参加者に仏向の様々な活動を知って頂くため、活動情報紙の配布、スライドショーの上映も行った。</p>	●3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同ケアマネ連絡会	<p>【目的】 ケアマネージャーと地域のインフォーマルサービスとの連携を始め、福祉・介護関係機関との連携、医療と介護の連携など幅広く、多職種連携が図れるよう、区内合同での研修会を実施。</p> <p>【内容】 4月6日「介護予防・日常生活支援総合事業について学ぼう」 4月14日主任ケアマネージャー対象「ファシリテーター講座」 5月18日ケアプラン研修「あなたのケアプラン見直してみませんか？」 6月22日「認知症研修」 8月9日「基本チェックリスト実施に向けて」 8月31日「基本チェックリスト全域実施に向けて」 9月12日「自治会・地区社協・民生委員・児童委員・ケアマネージャー懇談会」 9月21日「自殺についての知識と対応」 10月19日「高齢者虐待を考える」 11月11日「多職種連携会議全体会」 12月21日「MSWとケアマネージャー懇談会」 2月15日「心の病気とかわりのポイント」</p>	●7月、1月、3月以外 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エリアケアマネ連絡会	<p>【目的】 ケアマネージャーと地域のインフォーマルサービスとの連携を始め、福祉・介護関係機関との連携、医療と介護の連携など幅広く、エリア内の連携が図れるよう支援していく事を目的に実施。</p> <p>【内容】 4月6日「清水先生との懇談会」 5月20日、7月15日、10月21日、2月17日 「スーパービジョンの手法を使った事例検討会」 6月30日「届けたい気持ち」 10月26日「清水医院・東川島診療所との懇談会」 3月30日「自治会・民生・児童委員・社協・ケアマネ懇談会」</p>	●4月、5月、6月、7月、10月、2月、3月 計8回